

# 福 伴

第 204 号

令和6年3月1日  
発行 福江中学校  
電話 32-0112  
FAX 32-2105



お願いいたします。一緒に取り組んでいきたいと思います。  
～ホッとできる街づくり。ホッとできる福江中になるために～

「福江中学校の生徒が、うちの子もたちと楽しそうに遊んでくれました。」(※1)  
先週、福江公園で小さなお子さんを遊ばせていたお母さんからの嬉しいお話が校長室に届きました。職員にも紹介したので、朝の会などで、担任の先生からそのことを聞いた生徒たちもいたことでしょう。誰でも、褒めてもらえたり、認めてもらえたりすることは嬉しいものです。誰かに認めてもらえると子供たちの心の中に「自己肯定感」が醸成されます。

今、人間関係がうまく築けない生徒たちがたくさんいます。劣等感から逃れるために人を「陽キャ」と「陰キャ」に区別したり、差別したり、また、人をいじめることで間違った「優越感」を得ようとしたり、いじめられるのが怖くて、いじめの仲間に加わったり、いじめられている人を無視したり・・・。

このような生徒たちを救うキーワードが「自己肯定感」です。「自分は大丈夫」と自信をもつことで、人を区別したり、差別したり、いじめたりして間違った「優越感」を得なくてもよくなります。また、もし誰かに意地悪なことを言われても、「私は大丈夫」と自分のことを信じていくことができます。いじめの仲間に加わらず、いじめられている子に優しい言葉をかけたりすることもできるようになるかもしれません。「私は大丈夫」とポジティブな考えでいけば、心が安定し、常に笑顔で過ごすことができます。

「自己肯定感」を高めていくためには、小さな自己肯定感を心に貯めていく「ココロ貯金」が有効です。しかし、難しいのは、それを貯めるには長い時間が必要なこと、またそれを貯めてあげられるのは、周りの大人だけということなのです。だから、学校だけでこの課題を解決することはできません(※2)。子供たちが「オギャー」と生まれた瞬間から関わることでできる保護者や地域の皆様の力が必要なのです。

子どものココロ貯金をためる方法には次のようなものがあります。①話を聴く(相づち・うなづきをオーバーにすると効果的)②体に触れる(ハイタッチ、自分の子供なら頭をなでる、ハグ、添い寝など)③認める(目に見えたことを言葉で伝える。「実況中継」とも言い、特に何かを考えて話す必要はない)

忘れがちですが、子供を認めるためには、実は私たち大人の自己肯定感も大切です。朝、鏡に向かって「私は偉い。よくがんばっている。」「仕事と子育てを両方しているなんて本当にすごい。」「私も家族も健康で本当に幸せでありたい。」「これをつぶやくだけでも皆さん自身の「ココロ貯金」が貯まっています。」

今も昔も子供たちの願いは変わりません。①話を聴いてほしい、②信じて応援してほしい、③誰かと比べないでほしい、④失敗を許してほしい、⑤押し付けられないでほしい、⑥否定しないでほしい。

子供たちが安心してできる環境を整えてあげることが大人の使命。どうぞ、みなさん、この難問と一緒に立ち向かっていただけませんか。

※1 保護者・地域の皆さんにお願いです。子供たちの良いところをぜひお知らせください。

※2 コミュニティスクールは、学校だけでは解決できない課題を解決するための仕組みです。福江中学校は、東三河初のコミュニティスクールです。ぜひ、この自己肯定感にかかわる課題を皆さんの力も借りて解決したいと考えています。よろしくお願ひします。

## 部活動(運動部)の現状とこれからについて

学校の部活動の活動日が、徐々に縮小していく中で、地域のクラブチーム(※)にも参加して、その競技の技能を高めている生徒が多くいます。※野球、ソフトボール、剣道、バスケット、バレー、陸上、バドミントン(スポ少)等のクラブがあります。

「部活動がなくなるのでは・・・」という心配の声もあります。休日の活動日は減っていきませんが、平日はこれからも活動するので、今のところ、中学校から部活動がなくなることはありません。

子どもの数が減ってくるとともに、一つの学校だけでは、チームが組めない場合も出てきています。福江中では、ソフトボール部が、この春より赤羽根中学校と合同で地域移行型部活動という形で、夏の総体に参加する予定です。文科省の進めている部活動の地域移行を具現化する動きです。

クラブチームをベースとしたこのような形態は、東三河の学校では初めてのケースです。子どもたちが頑張れる環境を作るために、声を上げてくださった指導者の方や保護者の皆様の力があってこそその動きとなっています。



## ありがとうございます！地域の方が先生に！

2年生の体育の授業では、ダンスの先生が・・・、特別支援学級の生活単元の時間には清掃のプロ(サンクリーンさん)が来てくれました。

ダンスでは、簡単なステップが踏めるようになり、リズムに乗って踊ることができました。清掃では、職人さんの技を真似て窓をピカピカにすることができました。どちらの授業も生徒たちにとって大満足の時間になりました。

サンクリーンさんからは「私も福江中の出身だよねえ。いくらでもやりますよ」と、とても心強い、嬉しい言葉をいただきました。本当にありがとうございました。これからもよろしくお願いします！



## 立志歩行で校区をめぐる(2年生)

2年生は、3月11日に立志歩行を行います。3年生進級を目の前にしたこの時期に、志を立て、仲間との絆を深め、強い自分になるために、26kmの歩行にチャレンジします。当日は、福江中校区をぐるっとまわる計画をしています。お昼は、なんと地元のお店で食べさせてもらいます。本当にありがたいことです。近くを通りかかったら、ぜひ、声をかけていただけるとありがたいです。頑張ります！



## 3年生から教えてもらいました(1年生)

1年生は、総合的な学習で、とてもよい勉強ができました。「ようこそ先輩」です。今日の先生は、3年生。3年生は、1年生の皆さんに、高校選択の理由や頑張りたいこと、将来設計、後輩に伝えたいことを話しました。カッコいい姿を見せられたでしょうか・・・。



## サンキュー♡福中(3年生)

3年生は、いよいよ卒業する日が近づいてきました。卒業式は、3月6日です。卒業に向けた活動の一つとして、学校をみんなできれいにしてくれました。「サンキュー福江中学校！」・・・「感謝」の気持ちがあることが嬉しいです。これからも、「感謝」の心を大切に、素敵な大人になってもらいたいと思っています！



## 【編集後記】

免々田川の河津桜は、今まさに満開。毎年恒例の菜の花とのコントラストは、見事の一言です。2年生の立志歩行のプレウォーク(練習)では、行きかう人から、「よい声であいさつできる中学生だね」と嬉しい声をたくさん聞かせていただきました。校長としては嬉しい限りです。春の温かな日差しとともに、3年生の教室からは、卒業式のときに歌う合唱曲が流れてきて、ちょっと寂しく、切ない気持ちにもなっています。

